

今、求められる先見性

今から百三十年ほど前の新聞が「百年後の世界」と銘打った特集を組んだ記事に触れる機会を得ました。百年後の日本人がどう暮らしているかを想像した記事です。それによると「電話が各戸に普及、瞬時に海外と通話できる。高速の乗り物が登場し、移動時間が大幅に短縮される。電化が進み、暮らしにゆとりが生まれる・・・」明治の人々が、確かな先見性で面白いほど言い当てました。

次の世紀を見据えられないのが今の時代です。人間が種の保存を命題とすれば、百年先、千年先を見越して今を生きないと人類の滅亡か社会は崩壊します。しかし、現代の私たちは、生きていくはずのない百年先、いや数十年先さえ考えることができなくなっています。

最新の機械を使いこなせず、昔の言い伝えを頑固に守り、手足を使って働くしかできない古くさい方々に堂々と発言していただき、多くの方々が「故きを温ね新しきを知る」ことで万古

不変の真理を知り、初めて向上の道が開かれることでしよう。古を知る人からの学びは、尊敬心と人権感覚を培うことであります。世の中は、横の繋がりの大切さを訴えています。子どもや孫、曾孫という縦の繋がりを真剣に考えることが求められます。これから百年後、私たちはいません。しかし、人類は子々孫々と続くのです。

人権擁護委員 稲葉 日出夫

我が家のニューフェイス



田中 希来くん

生年月日 平成23年11月1日
(大字御堂)

お父さん：剛 史さん
お母さん：恵 理さん

僕は食いしん坊くん！食べるのが大好きなんだ♥食べ物を見つけるとハイハイで猛ダッシュ!!!
只今、歩く練習中です！
早く大好きなお姉ちゃんと一緒に走りまわって遊びたいな～。

おかげさまでみんな大笑い ケーシー師匠の話術で 腹の底から!!

11月4日にリリックおがわで開催された「笑顔寄席」のイベントを企画した愛村会会長の福島久仁子さんからお礼の言葉が届きましたので、ご紹介します。

『天高く、山は紅葉に染まる11月4日、第5回愛村会・東日本大震災支援活動「笑顔寄席」のイベントを開催しました。会場はあふれんばかりの人、人でうずまき、開演と同時に笑いが起こり、舞台を走りあはれまわるコントのにぎやかなふるまいに人々は声をあげて喜びました。また、歌姫の衣装ごとの歌声やしぐさに、笑いと拍手が送られました。ケーシー高峰師匠がまじめな顔をして話し出すと、会場はまた異なった雰囲気でもなく爆笑がうずまき、2時間はまたたく間に過ぎ、明るい笑顔がはじけていました。出口に用意したひまわりや朝顔等の種の袋も好評で、持ち帰る人は喜んでいました。残りの種は農産物直売所

にお願ひし、訪れる皆さんに無料で配布しました。いさよかなりと夏の節電のお役に立つてもらえれば幸いです。土地のおみやげに、ケーシー高峰師匠には壁掛け、ほかの方々には整理ダンス、もちろん和紙製品をお渡ししました。師匠も「ありがとう」と皆さんの前でうれしそうに受け取ってください、ほかの方々もそれはそれは大喜びで「また呼んでください!」と言ったとか・・・。

小川町内はもちろん、東秩父村の皆さんのおかげで、天気も上々。会場の周りだけでなく、家の中までにぎやかになる1日となりました。東秩父村社会福祉協議会および小川町社会福祉協議会を通じ、日本赤十字社埼玉県支部へ義援金をお届けすることもできました。東秩父村および小川町の皆さん、本当にありがとうございました。

愛村会会長 福島久仁子